



八代中学



八代高女



八代高校

八高同窓会会報 第12号

道

令和2年7月豪雨災害



Contents

- コロナ禍の中の八高
- 7月豪雨と八高
- 八高の未来を語る～松永新校長を囲んで～
- まほろばカフェプロジェクト
- 地区より
- 学年より
- 頑張ってます

- 会員紹介 八代版
- 八高の思い出「部活動熱血編」
- 大学生紹介
- 高校生紹介
- 事務局より

熊本県立八代高等学校同窓会

コロナ禍の中の八高

八代高等学校 副校長 石村 秀一

八代高等学校・八代中学校におきましては、万全の感染症対策を講じた上で、生徒の健やかな学びを保障することを目指して、6月1日から通常登校による教育活動を再開しています。

新型コロナウイルスは今後の見通しが立たない状況ですが、学校ではこれまで新型コロナウイルスをめぐつて、「どんなことがあったのか」を生徒たちの頑張っている様子を中心に振り返ります。

臨時休校

3月2日から15日まで一斉臨時休業（休校）としましたが、その後、休業が3月24日まで延長されました。その期間中、各学年に登校日を設定し、高校終業式、中学校修了式、そして退任式を実施しました。

新学期になつて再度4月14日から5月6日までの間、臨時休業（休校）を行うこととなりました。休業期間中には登校日を設定し、各教科からの課題に取り組むことになりました。課題の進捗状況や質問等はClassi（学校ICT化を目的にサポートする教育プラットフォーム）を活用しました。

状況は好転せず、5月7日から5月31日まで再度休業を延長することとなりました。分散登校を行い、また、特別時間割を作成し、各教科から学習計画に基づいて課題が出され、生徒たちはClassiを活用しながら、それに計画的に取り組みました。



登校日の様子（2）



登校日の様子（1）

学校行事

3月1日の高校卒業式、3月18日の中学卒業式は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を十分に行つた上で、卒業生及び職員、保護者のみの出席としましたが、厳粛な雰囲気の中、卒業生は引き締まつた表情で卒業証書を受け取っていました。



高校卒業式

- 昨年度中止となつた行事
- ○ 中学クラスマッチ（3月4日予定）
 - ○ 県立中3年生グローバルデイ（3月5日予定）
 - ○ 同窓会による講演会（3月6日予定）
 - ○ 中学授業参観・学級懇談会（3月7日予定）
 - ○ 中学入学予定者説明会（3月7日予定）



新任式・始業式

■ 新任式・始業式

新型コロナウイルス感染防止対策として、新任式と始業式は中学と高校を別会場で実施しました。体育館の席間隔は最大限広げ、会場の窓・扉は開放し、マスクを着用させ、入場時には手消毒を徹底させた上で、実施しました。



中学校卒業式

■ 入学式



入学式 (2)



入学式 (1)

新入生、保護者及び教職員のみで4月8日に実施しました。式や式後の行事も可能な限り短縮して実施しました。検温、マスクの着用、アルコール消毒液の設置、換気のために体育館の窓等を全開にしました。

8日に実施しました。式や式後の行事も可能な限り短縮して実施しました。検温、マスクの着用、アルコール消毒液の設置、換気のために体育館の窓等を全開にしました。

教育活動の再開まで

■ コロナウイルス感染拡大防止対策

学校の再開に向けて、登校前の検温と、味覚・嗅覚の異常等はないか、咳工チケット、こまめな手洗い、部屋の換気等の対策を徹底し、また、3密が重なる場所等での活動を控えるように連絡をしました。

分散登校と時間短縮、時差登校の3つを組み合わせて、学年毎にアセンブリー（学年集会）や、学活等を実施しました。



授業の様子 (ビニールカーテンを設置して)

■ We b会議と書面評決

職員会議等はWe b会議で行われ、書

めた職員を対象に実施することとしました。

■ 第1回八代中学校説明会について

6月7日に感染症拡大防止の対策をとった上で、規模を縮小して開催しました。

- P T A・後援会総会
- オーストラリア研修
- 鳳雛祭（体育の部並びに文化の部）
- 県高校総体

県教委の通知を受け、6月1日より学校を再開しました。再開に当たり、「熊本県立学校におけるコロナウイルス感染症に対応した学校再開ガイドライン」に基づき、「学校の新しい生活様式」を踏まえ、万全の感染症対策を講じた上で、生徒の健やかな学びを保障することを目指して、学校における教育活動を実施することにしました。

学校再開

■ 学校再開に向けた段階的な教育活動再開の取組みについて

5月18日から5月31日まで、授業を段階的かつ前倒し的に実施することとしました。各クラスを2グループに分け、登校の時間帯を午前と午後に分けました。授業では、生徒の席の間に可能な限り距離を確保し、対面とならないようにしました（休み時間も同様）。教室や学習室等にはビニールカーテンを設置し、最大限の感染防止の取組を行った上で実施しました。

面評決で行われることが多くなりました。



八代中学校説明会

■ 部活動における全国大会の中止に伴う各地域での代替案の検討について

熊本県高体連は県高校総体の代替大会の日程を6月16日に発表しました。7月4日から始まるソフトボールを皮切りに実施しました。

8月10日までの土日を中心に28競技を実施しました。本校でも県総体を機に引退する生徒が多いことから、代替大会は「最終学年生徒の発表の場」と位置づけ、一部の生徒が出席しました。従来の県総体と比べて規模を縮小し、感染拡大防止の観点から原則無観客で行われました。

その他

■ 夏季休業期間について

8月7日に1学期終業式、8月24日に2学期始業式を実施しました。高校1・2年生の夏季課外は中止し、3年生のみ実施しました。

7月豪雨と八高



7月4日未明、長時間に及ぶ線状降水帯の出現による猛烈な豪雨により、人吉や坂本地區などの球磨川流域と芦北地区では、河川の氾濫、住宅浸水、道路や鉄道などの交通網の寸断など未曾有の大きな被害に見舞われ、不幸にも65名の尊い命を奪われる最悪の事態となりました。八高・八中には遠くは人吉球磨地方や八代市坂本町、芦北郡からの通学生も多く、通学や勉学・部活動・進路指導など八高生活の多方面に影響が出ています。そこで、広報委員会では、被災の実態や今後どのような問題が生じてくるのかを知るために、八高の先生方や生徒たちに聞き取り調査を実施いたしました。(9月4日に高2、高1、中3の学年主任の先生方と被災した生徒6名を対象に2回に分けて実施)

災害時の安否確認

災害当日の全生徒への安否確認は、コロナの対策として使用していたリモート学習用のツールClassiによるオンライン回答や直接電話での確認を行いました。電話の不通状態が続く坂本地區とは連絡が取れませんでしたが、翌日、避難所である八代市総合体育館、千丁コミュニティセンターにて生徒の無事が確認できました。

豪雨による交通網の遮断により通学に大きな影響

現在、八高・八中の生徒の中にはJR肥薩線利用者が8名、肥薩おれんじ鉄道利用者が60名いますが、肥薩線は復旧に

めどがついておらず、また、おれんじ鉄道も佐敷八代間が不通（9月10日現在）となつており、通学に大きな支障が出ています。（肥薩おれんじ鉄道は11月1日から全線運転再開されました）

被害の状況と現在の状態

被災の状況は、高校2年生では、芦北地区で、床上浸水3名、床下浸水3名、自動車の流失が1名でした。住宅が壊滅的な被害にあった生徒は、部活のユニフォームを持って避難したそうです。教科書も多少泥で汚れましたが、本人は公費配布を断り、このまま使用したいと言っています。元来、我慢強い性格で、災害に負けないという強い意思がみられ、他生徒への勇気を与えています。現在は家族とともに八代市にアパートを借り、通学しています。

高校1年生では、家屋の大きな被害はありませんでしたが、道路や鉄道の寸断等で通学に支障がある生徒がいます。坂本地區から通学していた生徒の一部は家族とともに引っ越しをした人もいます。

中学生には、肥薩線利用者が4名います。4名とも家屋の被災はありませんでしたが、当初は、鉄道が不通のため保護者による送迎が基本となり、家族にどうしては負担が大きい状態でした。渡地区から通学していた生徒は、家屋は被災していないものの、道路の寸断により通学できなくなり、八代市へ家族で転居し、父兄が勤務先の人吉へ通勤をしています。水俣・芦北地区から通学する生徒は、新幹線利用者は平常通りでしたが、肥薩おれんじ鉄道利用者は佐敷駅・八代駅間



被災地域の生徒たちへの
心のケア

復旧ボランティア活動

ボランティア活動については、学校主催による災害ボランティア活動が計画されていましたが、八代市でのコロナ感染者の発生に伴い中止となりました。自粛的に参加している生徒たちもたくさんいましたが、実態として把握されていませんでした。

す。また、バス内は密状態でコロナ感染が心配になっているようです。八高生の場合、発着時刻が課外授業や部活の時間、学力テスト実施日への時間帯に対応が不十分なのが現状です。生徒たちはこの点の改善を強く求めています。

生徒たちへの心のケアは、熊本地震後から「心と体の振り返り」として、生徒へのアンケートを定期的に実施しています。今回の豪雨被害に際しても実施し、生徒の状況の把握に努めています。スクールカウンセラーや相談室への相談につなぎ、カウンセリングも実施しています。以前より、希望者が増え、スクールカウンセラーの敷居も低くなっているのが現状で

まづ、月果

被災地域からの生徒の通学は鉄道から代替バスの運行となりましたが、バスでの通学は朝課外や部活動に大きな支障が生じています。そこには、八高独自の問題があります。

が不通となつたため、保護者が車での送迎を輪番で行つていました。その後、代替バスの運行が始まり、保護者の負担は減りました。日奈久、二見からの通学生も災害当初は保護者の送迎でしたが、その後、代替バスを利用しています。人吉・球磨方面は9月4日まで保護者が送迎していましたが、9月7日から高速バス利用者への運賃補助制度がはじまり、高速バスを利用することができるようになります。八高には新八代駅から自転車で通学しています。坂本地区は9月10日からジャンボタクシーの運行が始まりまし

被災地域の生徒たちの
一番の要望
「八高の時間帯に対応した
代替バスを確保して欲しい」

んでした。人吉の実家（本人は八代で下宿）が被災した生徒は、2週間学校を休み、自宅の片付けや地域の復旧のためボランティア活動をしていましたそうです。

八高の未来を語る ～松永新校長を囲んで～

8月26日八高校長室にて八高同窓会広報委員会では今年就任されました校長と副校長両先生を囲んで、八高の未来を考える座談会を開催しました。

出席者は村山忍同窓会長、松永健身體校長、石村秀一副校長、渡邊亮一同窓会事務局長、広報委員会からは一親房、岡村洋文、作田典子、米本直美、江崎博美、松永正大、柴崎政俊、桑原温乃が出席しました。司会進行は一広報委員長が行いました。

司会：それでは、座談会を始めさせていただきます。同窓会長、松永校長、石村副校長お三方にご挨拶をお願いします。

村山：同窓会は同窓生が一丸となつて、母校の発展のため、積極的な支援をしようと、いう団体です。今回の座談会では皆様に忌憚のない意見を出していただければと思います。

松永校長：前任校は菊池高等学校で3年校長をしておりました。八代への赴任は教員人生で初めてです。今年は、学校行事が全て中止となっています。現在は淡々と生徒の不安を解消すべく、生徒を励ましながら授業に取り組んでいるところです。学校は学校だけでは運営できません。保護者や同窓会の支援が必要です。どうぞよろしくお願ひします。

石村副校長：大学を卒業してすぐの3年間を八代高校で勤務いたしました。今、当時の教え子たちと職員室で一緒に仕事をしていく、教員としては大変嬉しいことです。この場でお聞きするご意見を生かしていきたいと思います。

★新型コロナと豪雨災害で手探りの学校運営

司会：まず新型コロナと豪雨による学校の状況についてお伺いします。

石村副校長：2月から新型コロナ感染の注意喚起が出て、3月の卒業式も保護者のみの参加、4月には入学式も規模縮小となり、その後2～3日の授業の後、休校となりました。7月4日の県南豪雨の



★今こそ、同窓会のネットワークで就活学生に支援の手を

司会：同窓生として、コロナ禍における就活中の大学生や高校3年生の受験生の情報はありませんか。

米本：本年度入学の大学生は、現在、進学先や八代に残ったままオンライン授業といった実情です。本当に自分は大学生になつたのだろうかという違和感を抱いています。また、今年は各大学のオンラインキャンパスもなく、高校3年生に限らず2年生からも不安の声を聞いています。

桑原：就活中の卒業生へのアンケートの結果、就活では本来なら人事の方と会つて企業の雰囲気を知るはずなのに今のオンラインでの企業面接で雰囲気を知る事は難しい。アンケートの中には、地元の後輩たちを心配する声も多く、就活で不安な状況の中でも後輩たちをサポートしたいという意見が多かつたです。

影響としては、生徒の中に肥薩線の利用者が8名、肥薩おれんじ鉄道の利用者が60名で、おれんじ鉄道の代わりに代替バスなどを使いながら通学支援を行つておりますが、生徒たちの学びの保障については生徒・職員も不安を感じています。また、7月下旬より新型コロナが八代で発生し、保護者や兄弟、友達など感染のリスクを0にする事は難しい状況となりました。また、新1年生においては、本来なら4月は友達を作る時期、8月にはクラス内で信頼関係が生まれリーダーシップが取れる子が出る頃なのですが、今はそういうクラス作りも難しく、三密を考慮しつつ勉強以外のところでレクリエーションなど企画して交流を図つています。また、授業でもグループワークやペアワークを実施していましたが、今は生徒同士での話し合いなどができず、昔のような一方通行型の授業となつてします。子どもたちも戸惑いがあり、心のケアの必要性を感じています。

村山会長：同窓会からも各地区の同窓会より、卒業生が頼つてくるのを待つているところがあります。そこを繋ぐものがあればと思います。

米本：現在、高校の同窓会と就活中の学生とはあまりリンクしておらず、頼るのは大学の先輩。これを機に在校生へ卒業生からの発信ができれば。SNSのグループなどオンライン上のコミュニケーションを早めに立ち上げてはどうかと思います。

松永校長：今年は大学へのキャンパス訪問ができませんので、各大学へ進学された先輩方に来ていただくなど、SNS等で発信していただきたい、同窓生の皆さんにはそういう援助をしていただきたい。

八高の先輩がこんなに多方面にいらっしゃることを知っている子たちは少ないのではないかと思います。

★同窓生が語る理想の八高生とは

司会：そうした取り組みは大事ですね。是非、今後同窓会で検討していただきましょう。

渡邊：自分で動く。「これからどんな仕事があるかなんてわからない世の中になつてるので、自分が好きな仕事を見つけて欲しい。これだけインターネットで情報が入るのに、知らないことが沢山あります。分からることは自分で調べ、分析し、考えるという力が必要ではないでしょうか。

作田：三綱領の2つ目、「自律」。八高には生徒会ではなく生徒自治会がある。八高生は凄い子もいますが、トータルで見たときにおとなしい。そんな中でも「自律」の精神は持ち続けてほしい。何か学校に対しても要望があれば、自治会を動かしてほしい。

松永：友人が、入学時はギリギリな成績だったはずなのに、卒業時には早稲田に合格。高校の3年間で能力がグンと伸びる世代なので、自分たちには「可能性」があることを知つていてほしい。今の成績では到底無理だと思う目標にも、可能性は必ずある、という大らかな気持ちで応援してほしい。

さて、皆さんにお聞きします。どんな八高生になつてほしいですか？

岡村：自分の個性を發揮できる表現者であつてほしい。自分の専門的なものだけでなく、いろんな引き出しを持つ。自分を本当に高めていくために、何があつてでもきちんと発言・表現できる子どもたちを育ててほしい。

柴崎：リスクをとること、自分で選んで行動すること。起業するとかは難しいかも知れないんですけど、そういう心意気を持つてほしい。

米本：自分で動く。「これからどんな仕事があるかなんてわからない世の中になつてるので、自分が好きな仕事を見つけて欲しい。これだけインターネットで情報が入るのに、知らないことが沢山あります。分からることは自分で調べ、分析し、考えるという力が必要ではないでしょうか。

渡邊：三綱領の2つ目、「自律」。八高には生徒会ではなく生徒自治会がある。八高生は凄い子もいますが、トータルで見たときにおとなしい。そんな中でも「自律」の精神は持ち続けてほしい。何か学校に対しても要望があれば、自治会を動かしてほしい。

作田：自分で動く。「これからどんな仕事があるかなんてわからない世の中になつてるので、自分が好きな仕事を見つけて欲しい。これだけインターネットで情報が入るのに、知らないことが沢山あります。分からることは自分で調べ、分析し、考えるという力が必要ではないでしょうか。

松永：自分で動く。「これからどんな仕事があるかなんてわからない世の中になつてるので、自分が好きな仕事を見つけて欲しい。これだけインターネットで情報が入るのに、知らないことが沢山あります。分からることは自分で調べ、分析し、考えるという力が必要ではないでしょうか。

江崎：情報が今沢山ある中で何が本当に何が嘘か。自分自身が心から納得したことを信じてほしい。先生の言葉も本当なのかとか疑つてみると、人の話を鵜呑みにせず、自分で調べ考えられるようになります。あとは思いやりのある人に。

桑原：学生時代にやりたいことを見つけてやる、という気持ちで経験を積んでもらうのが難しい。やりたいことが決まらないことに焦るよりは、高校時代は身の回りの環境の中でやれることなら何でもやってやる、という気持ちで経験を積んでほしい。

江崎：情報が今沢山ある中で何が本当に何が嘘か。自分自身が心から納得したことを信じてほしい。先生の言葉も本当なのかとか疑つてみると、人の話を鵜呑みにせず、自分で調べ考えられるようになります。あとは思いやりのある人に。

桑原：学生時代にやりたいことを見つけてやる、という気持ちで経験を積んでもらうのが難しい。やりたいことが決まらないことに焦るよりは、高校時代は身の回りの環境の中でやれることなら何でもやってやる、という気持ちで経験を積んでほしい。

司会

昔の八高生は「パンカラ」という言葉が似合っていた。自分たちの世代は反発心があった。先輩たちと同じ事はないという想いがあつた。今はみんな同じ型にはまつてゐる。そんな精神ならグローバルな世の中、やつていただけるのかな、と思います。もっと反骨の精神、たまたましさを作つていただきたいなと思います。さて、先生方にお聞きします。八高と他校との違いを感じられますか。八高の独自性とは何でしょうか？

司会

私は学生時代、勉強という勉強をしませんでしたが、『学生生活は良かつた』、と思えるようでないといけないと思います。私は、八高が人生のベースだと思っています。今、私が関わっている組織には全てにおいて同級生も関わっています。仲間と毎月集まり、毎年旅行し、毎年学年全体の同窓会をしている。学年の特別な広報誌（23号目）も作つていて。同級生あつての自分の人生。八代高校に感謝をしております。

司会

私は学生時代、勉強という勉強をしませんでしたが、『学生生活は良かつた』、と思えるようでないといけないと思います。私は、八高が人生のベースだと思っています。今、私が関わっている組織には全てにおいて同級生も関わっています。仲間と毎月集まり、毎年旅行し、毎年学年全体の同窓会をしている。学年の特別な広報誌（23号目）も作つていて。同級生あつての自分の人生。八代高校に感謝をしております。

★八高の未来に不安無し！ 根付いているグローバル人材の育成

松永校長：八高は一人ひとりの能力が高いいので、先生たちも生徒の持てる力の色々なことにエネルギーが注げています。自分たちの頃よりおとなしいと思うものの、自分で考え行動する力は今の子たちに十分にあるように感じています。現在は思考力・判断力・行動力が根幹の学習指導要領を丁寧に行つてています。今は講義の授業しかできませんが、先生たちの指導の軸にもそれはあります。八高の未来に不安は持つていません。

石村副校长：本校は「グローバル人材の育成」を掲げてあります。『グローバル人材』の定義は、「どこでも活躍できる・メッセージを持つた人材」。そこが根幹にあり、職員はよく生徒たちに『可能性は無限大』と話し、第一志望を貫く指導をするというのが職員の共通理解としています。だから子どもたちがどうやつら諦めないか、前を向ける指導ができるのかに徹しており、そういう文化がこの学校には根付いています。また、中高一貫のグランドデザインでは、授業以外の中進生と高進生の交流が極めて大事だと思っています。その中で互いを認め合い、刺激し合う。その循環ができるからこそ、本校がうまくいっていると感じています。



若者と地域を繋げたい 八代まほろばかふえプロジェクト ～これまでとこれから～



プロジェクト内八高出身メンバー

桑原 温乃 (69回生) 中村 愛香 (69回生)
古川菜々美 (69回生) 前田 周作 (69回生)
湊 愛花音 (69回生) 西尾 桃佳 (69回生)
馬淵 寛汰 (69回生) 田添 彩莉 (71回生)

ウェブサイト『coco mahoroba』
<https://coco-mahoroba.com/>



八代まほろばかふえプロジェクト（以下、まほろば）は、八高出身のメンバー5名で2019年3月に立ち上げ、現在は八代内外にいる14名のメンバーと一緒に活動しています。ミッションとして、「八代への思い入れを育むこと」「若者が主役になれるまちをつくること」を掲げています。1年目には、高校生から大人まで誰でもフラットに対話をを行い、世代を超えた繋がりをつくる『八代まほろば会議』や、若者が自分のスキルを活かしてその日一日自分のオリジナルブースを展開する『まほろばチャレンジストリート』を開催しました。今年はコロナの影響を受けて対面でのイベントを中止し、人の魅力を通して八代のことをお伝えするウェブメディア『coco mahoroba』の運営や、外部団体・企業様との共同企画に取り組んでいます。

まほろば立ち上げのきっかけとなつたのは、八高在学中、生徒自治会の活動の中で『高校生フェスティバルAPPY SCHOOL』に参加したことでした。これは、『高校の垣根を越えた八代市内の合同文化祭』というコンセプトのもと、毎年3月のイベント開催に向けて他校の生徒たちと企画運営を行うというものでした。在校生の皆様の中にも参加された方

がいらっしゃるのではないか。この活動を通して、親でも先生でもない地域の大人たちや他校の高校生と関わり、個性と魅力溢れる人たちとの繋がりができたことが、私たちにとっての地域への思い入れとなっています。そのような経験から、「大学進学や就職という進路の分岐点の直前である中学・高校時代に地域の人とどう関わったか」が、その人、その地域のその後に大きな影響を与えることを感じました。それが今日の「高校生をはじめとする若者を地域と繋がりたい」という思いに繋がっています。

若者の人口流出といった地域の課題を解決することは簡単なことではありません。しかし、私たちの活動で大きなインパクトを与えることはまだまだできています。



ます。今年7月の豪雨災害でも全国各地の方々が繋がり、多様な形で支援をされ、いらっしゃった姿が、その最たるものではないでしょうか。

八中生・八高生の皆様は、これからそれぞれの夢や目標に向けて様々なフィールドへ羽ばたかれると思います。卒業生の皆様も国内外各地で活躍されています。私たちは、この八代という地域の中できの経験をできるだけ広く多く提供したり、持っている繋がりを広げたりといつたことで、皆様や地域のお手伝いができるたらと思っています。



最後に、まほろばの活動では、在校生や教職員の皆様、卒業生の皆様にたくさんのご協力やご支援をいたさいています。この場をお借りし、心より感謝申上げます。向こうしばらく続きそうなウイズコロナの中でも、私たちらしい活動ができるよう頑張ってまいります！

関東地区同窓会

大塔宮 鎌倉宮..八代ゆかりの
神社をご紹介いたします

神奈川県鎌倉市の鎌倉宮は、後醍醐天皇の皇子の大塔宮（おおとうのみや）護良親王（もりながしんのう）をおまつりした神社です。

八代宮は兄弟宮とされています。
その「ご縁」で鎌倉宮には八代の懐良親王
の「お手植えの梅」が移植されています。
さらに2018年2月25日㈰に八代高校
同窓会の岡山前会長が中心となり「高田
ミカン」の植樹が行われました。

本年8月29日(土)に見に行つたところ、まだ、それほど大きくなつていませんが、元気にしていました。社務所で御朱印をいただき、話をしていました。宮司さんは八代とのご縁を大切に考えておられる様で、高田ミランと梅の生育状況その他のいろいろなお話を聞かせていただきました。(ミラン)

同窓会入会式に出席して
会長 勝井梅子（高21回卒）



2月29日八代高
校同窓会入会式に
出席しました。
コロナ拡散で卒
業式が出来るか?
という時期に実行
していただき感謝いたします。

当団は、バリトン・テノールカウンター
テナーで活躍中の本岩孝之（高34回卒）
のサプライズ参加で卒業生との交流があ
り皆さん的心の奥に素敵な思い出として

の写真は、宮古の小岩様よりご提供いた
だきました。)
関東で熊本ゆかりの地はたくさんある
ようですが、八代ゆかりの地となるとな
かなか見つかりません。
古都鎌倉の「鎌倉宮」とのご縁は大切
にしたいと思います。



俱樂部活動

私たち関東地区同窓会は、関東一都六県とその近県の卒業生、旧職員等を会員として活動しています。会員はおよそ2千4百名で、学年幹事会を開催して運営しております。活動は「総会・祝宴」「俱楽部活動」等を行つており、ホームページ、facebook等を使い分けて情報交換し、交流の充実を図つております。



総会・祝宴

ましたが、まだ新型コロナの話題はそれほど出ておらず、樂しく旧交を温めることが出来ました。

通信・連絡

ウィズコロナ時代になつてしまつた以上は、特効薬やワクチンの開発、治療法の確立などが出来るまでは、集会等は控えるべきと考えられます。オリンピックを機に事態が好転することを期待し、来年の総会・祝宴・各種活動の準備をしていきたいと考えております。

関東地区回怒のホームページ「八幡
関東じつと隠れ」は、各種「」案内・報知
事項などを掲載しております。<http://www.85kantou.com> にてお調べ
ください。

広報担当立居場誠治（高29回卒）

関西同窓会

事務局便り

令和2年度の総会＆懇親会は、新型コロナウイルスの感染拡大防止の影響で開催が中止され、会員の皆様には大変ご迷惑をおかけしました。

次回は令和3年6月5日㈯に、大阪市此花区のホテル京阪ユニバーサルタワーにおいて開催を予定。会員皆様のご出席をお待ちしています。

事務局長 新村 守 (高49回卒)
☎ 090-1787-813202



八高関西同窓会は35歳になりました！

一代目会長 富崎正郎 (高14回卒)

八高関西同窓会は、関西の地に於いても城南の雄として存在しています。同窓会結成年度は八代東や八代工（両高共に甲子園出場時に結成）に後塵を被りましたが、現在は熊本市内の高校に対抗できる唯一の組織に飛躍し、城南地区の各高校が八高の傘下に集っています。

結成は昭和60年10月。初代会長故黒田敏明氏（3回生）のもとで発足。下級生が上級生を慕い尊敬する1本の大きな絆

と、他校は「〇〇高関西地区同窓会」と呼称する事が多いなか、あ

くまで「はちこう」にこだわりと愛着を感じる「八高関西同窓会」との名称が

誇り。

総会＆懇親会には、伝統校としての講演会

を入れる。元防衛省統合幕僚長の折木良一氏（20回生）や気象キャスターの平井信行氏（38回生）。故坂田道太大先輩の伝記の著者国際政治学者ロバート・エルドリッジ博士の登壇等、友好団体や城南会からのゲスト出席者に羨望される講演内容。ゲストの手土産には東陽町の生姜の味噌漬けと日奈久片山の竹輪のセット。講演会、手土産ともに大好評。

35年の歴史の中で産まれた「城南会」。熊本市内の高校同窓会に比べて、八代東、八代工、秀岳館も個々では小さい組織。そこで八高が中心になり、宇土高校以南の高校との交流会（春、秋の年2回、懇親会、ハイキング、ゴルフコンペ）を開催。そこで八高関西同窓会のノウハウを伝授。組織拡大に努めている。

私事ですが、この度3期6年の関西熊本県人会連絡協議会の会長職を任期満了で無事に終え、新たに相談役に就任しました。組織内では若い後輩達も順調に育

ちました。令和2年度の総会＆懇親会は、コロナの感染拡大防止で開催出来ませんでしたが、令和3年度には三代目新会長が誕生します。会員の皆様！ 八高関西同窓会はこれからも躍進を続けます。ご期待下さい。



令和2年度役員新年会 (店名: 八幸・はちこう)

大和路ハイクで季節の移ろいを…

西村 孝 (高17回卒)

大和路ハイクは、春は桜の季節に、秋は紅葉の季節にと、大和路がその姿を一番美しく見せる時期に開催されています。今春の第26回例会は、女人高野の室生寺と大野寺の観桜に訪ねました。

会員は、池田先輩や北九州市に在住の橋田先輩達の3回生を最年長に、東海の10回生滝先輩、16回生の清原先輩などの遠来組と、城南会からの参加者で約30名です。

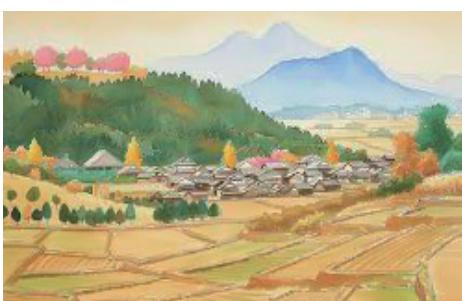
ハイキングの冠には「大和路」と名付けられ、訪ねる先是「奈良県」に限定されていますが、これまで一度だけ県外に出たことがあります。当尾の里（淨瑠璃寺→岩船寺）は地図上京都府ですが、出発地が近鉄奈良駅でしたから例会のコースに組み込まれました。

大和路は、何処を訪ねても古代の歴史

も古代の歴史とロマンに溢れた地です。これまでに訪ねた万葉の里

明日香村。いにしえの古道

山の辺の道。花の斑鳩の里、長谷寺、般若寺、阿部



晩秋の明日香村

ニアピン賞ねらいで楽しんでいます！

押方克郎 (高11回卒)

第53回城南会コンペは、令和2年4月9日に神戸市北区のダンロップゴルフコースで開催されました。

このコンペに参加した当初は、11回生も高光、青木、久保田、押方とメンバーが4人もいましたが、その後

高光君が亡くなり、青木君が体調不良で、現在は久保田君と二人だけの参加になりました。



第53回例会 ダンロップゴルフコース

会は、春と秋の年2回開催されます。4月は1日、10月は宿泊付きで2日間です。参加者は八代東、八代工、秀岳館、人吉高からもゴルフ愛好者がエントリーをされ、各校の対抗戦も意識されて毎回熱戦です。私は上位入賞よりも、毎回ニアピン賞ねらいで楽しんでいます。

ゴルフは、自分のリズムで全身を使いますから、足腰共に丈夫で、高齢者としてのハンディを受けずに、傘寿を迎えるました。これからも積極的にコンペに参加して、同窓生や城南会の皆様と交流を続けながら、余生を楽しみたいと思っています。

文珠院、大和郡山城。西の京の薬師寺と唐招提寺。これから訪ねる先も無限です。春、秋の季節には、古代の風に触れに大和路ハイクにご参加下さい。奈良の地でお待ちしています。

東海同窓会

楽しかった世界遺産「五箇山」への 日帰り交流会

広報担当 村田 譲
東海同窓会は設立6周年を迎えたが、今年は新型コロナ禍のため4月に予定していた総会・懇親会も中止となり、例年秋に行う日帰り交流会もできなくなりました。そこで、昨年12月に開催した

広報担当 村田
護立6周年を迎える
「ナ禍」のため4月に予
定の懇親会も中止となり、
交流会もできなくなり
ました。昨年12月に開催した
「日帰り交流会」を
ご紹介します。



合掌造りの前で



さらを持って
「こきりこ節」を舞う当主

里へ到着しました。

五箇山は富山県の南西端、岐阜県境に位置し、1995年に岐阜県の白川郷と



岡山県の観光

●瀬戸内国際芸術祭2019

4回目の開催年だつた昨年は、世界中から、実に大勢のインバウンド観光客が岡山県を訪れました。

メイン会場の香川県直島や豊島・小豆島方面へのアクセスが便利なカーフェリーや貨客船を有する県南端の港湾都市「玉野市」の宇野港には、それら瀬戸内の島々の会場に向かう大勢の観光客で、賑わいを見せました（芸術祭全会場来場者数・1118万人）。



本の楽曲まで楽しんで頂くべく、励んで参りました。

參照：<https://www.facebook.com/tamano.kanko/> (田嶺正輔氏個人臉書)
book ↗
<https://www.facebook.com/tamano.kanko/photos/a.98371050809/1246260462192482/?type=3>
&theater



てなし@宇野港 又、同観光ボランティアガイドの会は、ほぼ隔月宇野港に入港する国際観光クルーズ船の乗客を、音楽や日本の伝統クラフトで歓迎する「おもてなし活動」にも努めて参りました。



<https://www.city.tamano.lg.jp/> (丹波市)

岡山（同窓会）のこれまでとこれから

江島敏子（高18回卒）

岡山同窓会

岡山では、昨年まではほぼ毎年、6月
初頭の週末に「岡山同窓会」を開催、県
内の八代高校卒業生のみならず、本部か
らの同窓会会长や校長先生、隣接県同窓

アガイドの会「つづじの会」メンバーの私にとって、海外からの観光雑誌記者への応対や、宇野駅や宇野港での大勢のインバウンド観光客の対応に、忙しくも学ぶことの多い、忘れられない年となりました。

アガイデの会「つつじの会」メンバーの私にとって、海外からの観光雑誌記者への応対や、宇野駅や宇野港での大勢のインバウンド観光客の対応に、忙しくも学ぶことの多い、忘れられない年となりました。

參照：<https://www.youtube.com/>

*注：「八高」

クラシックギター奏者の澤江隆一さん（22回生・今年春まで岡山理科大学数学教授）との音楽ユニット。



6年前の岡山同窓会での初対面で、お互い楽器演奏が趣味と知り、岡山理科大学の学園祭に出演、海外で開催の数学学会にまで同行し、そのレセプション会場での演奏や訪問先観光地でのストリートライブまで体験。

この春から画策の「勝手に全国ツアーワーク」は延期に。最近再開されつつある近隣地区での小規模イベントに出演。

最後になりましたが、

吉田高範氏（18回生、S.41年卒）の逝去



広島県同窓会

岡山同窓会は、コロナ禍の中とて、一周忌に伺うこともできないままの状況下にあります。氏のご尽力を無にするところなく、終息後の元気な再開と楽しい再会を目指して、久保田壽一新会長を始め会員一同、これからに向けて、しっかりと歩みを進めて参る所存です。

個人としても、八代よりお越しの皆様のお役に立てるよう、又、次回の瀬戸内国際芸術祭2022への参画も叶うよう、健康と環境の維持と継続に努めて参ります。



球磨川と胸川の合流地点の様子。
右側が人吉城址。奥のビルが球磨川右岸の旅館。

果てた姿になってしまいました。清流球磨川は、川沿いの住宅や田畠を高く押し流す暴れ川に豹変し、多くの方々の命も飲み込みました。球磨川の清流は、その後一ヶ月は戻りませんでした。

現在は、街の中心部からがれきは取り除かれつつあります。川沿いの老舗旅館は大きな被害を受け、完全復旧は来秋ではないかという声も聞きます。球磨川下りの発船場も大きな被害を受けました。肥薩線は八代～吉松間で運休が続き、球磨川を渡る鉄橋には、現在もがれきが引っ掛けたままとなっています。

くま川鉄道では、鉄橋が流出し、線路も洗堀により、被害を受けています。

今年は新型コロナ感染症の拡大により、本部同窓会を始め、全国の同窓会が中止を余儀なくされました。広島県同窓会も、残念ながら、中止とさせていただきました。

加えて、去る7月4日に発生した豪雨

災害は、故郷熊本に大きな被害をもたらしました。この場をお借りして、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された方々に哀悼の意を表させていただきます。

さて、私事ですが、今年7月から人吉市で生活をしております。引っ越しして一週間ほど経つたところで、この豪雨災害に遭遇しました。そこで、今回はこの「一

村田栄治（高28回卒）
今年は新型コロナ感染症の拡大により、本部同窓会を始め、全国の同窓会が中止を余儀なくされました。広島県同窓会も、残念ながら、中止とさせていただきました。

夕方、人吉市に戻りましたが、携帯電話が繋がらず、外部とは全く連絡が取れない日が約一週間続きました。

人吉市街地の様子を見ることができたのは、7月8日の夕方でした。

川の水が引いた直後の街の様子は、津波被害を受けた後のよう、目を覆いたくなるような惨状でした。つい数日前には川沿いの道を散歩しながら、のどかな街並みや挨拶をしながら通り過ぎていく中学生の姿を眺めていたことが、まるで夢だったのかと思われるような、変わり



生活の基盤となるインフラの復旧は、さらに時間がかかりそうです。

そして、今回の災害は、私の生まれ故郷である八代市坂本町も襲いました。国

道219号は至る所で寸断され、橋も流され、中学・高校の同級生の家屋も大きな被害を受けました。実家へ帰れたのは、高速道路の坂本パークイングからの出入りができるようになつてからでした。JR肥薩線坂本駅や坂本支所（旧坂本村役場）も浸水し、国道219号と支所を結ぶ坂本橋も流出しました。球磨川沿いの病院も商店も悉く被害を受けました。

そんな中、県内から多くの方々が、猛暑の中、ボランティアとして被災地に入り、復旧の力として大活躍していただきました。心からお礼を申し上げたいと思います。

現在、地元では、川辺川ダム建設の議論が再び始まっています。ダムを建設し、鉄道や国道を現在地で復旧させるのか、ダムに頼らない治水を継続し、鉄道や国道は高上げ或いは付け替えで復旧させるのかなど、いくつかの選択肢が考えられるようです。いずれにしても、恐らく、復旧にはかなりの時間を要することになると思われます。

その頃、再び被災地に笑顔と活気が戻ることを祈って、少しでも地元に貢献していきたいと考えています。同窓生の皆様のご支援もよろしくお願ひいたします。

大分同窓会

ICANノーベル平和賞受賞で
オスロ旅行に参加

田河清一（高13回卒）

ノルウェーのオスロにて、2017年12月10日にノーベル賞受賞イベントが盛大に行われました。女房は長崎被爆者で、その団体の中で世界平和創世のため、核

廃絶運動に挺身してきました。その結果がICANの平和賞受賞だと思います。

ノーベル平和賞を受賞するという実を結んだICANの活動は、主に日本の被爆者の方達が世界中へ核廃絶のために、証言旅を行い、非常に重大で困難な活躍をされた結果だと思います。

ICANの会長は外国人ですが、副会長で事務局長である日本の川崎さんという方が大変な努力をされて来ました。長崎、広島の被爆者団体の方々の努力は苦難の道でもあり尊い活動の連續であつたでしょう。

女房がノーベル平和賞受賞式へ行くことになり、私も同伴できたのです。

一連のオスロでの受賞イベントに参加となりました。思いがけない一生に一度の体験旅行となりました。

2017年12月7日に日本を発つて13日に帰つて参りましたが、その間、種々なイベントに参加いたしました。

①オスロ市内にあるノーベル平和セン

展示見学。ノーベル平和賞受賞者の展示見学、世界中の展示見学。世界中の展示見学。

②授賞式本番のイベントで見られる弾頭の設置施設の写真

③授賞式の夕刻からはオスロ市内を平和行進して祝賀パーティ会場へ向かいました。

その他様々な催しに参加いたしましたが全部は書ききれません。

④オスロ大学での「原爆の樹の種」贈呈

⑤コンサート大ホールでの世界のミュージシャンによる祝賀音楽祭。

⑥ムンク美術館見学。「ムンクの叫び」を

生で鑑賞しました。

⑦世界核廃絶センターでの講演参加、講義

ター内でのノーベル平和賞受賞者の展示見

学、世界中の展示見

施設の写真

展示見学。

ノーベル平和賞受賞者の展示見

学、世界中の展示見

を受けました。

⑧オスロ市庁舎訪問。

⑨女房が現地テレビの取材で長崎原爆の体験が一日中放映されました。

以上簡単に書いてきました。私が感じたこと。「長崎に縁あって、女房が長崎で被爆したこと。今回の貴重な体験を積んだことが不思議な時間と場所を越えて、線で繋がつたことが思い起こされたのです。

それは、長崎原爆の日に八代郡鏡町の郷里から、八代海の遙か向こうの島原普賢岳の上にキノコ雲を見たからです。」

戦争も平和も人間の心の中に生じて来るものであると、改めて感じたことです。



小さな旅

松本宏次（高15回卒）

八代を離れて、もう50年超える。ふつ

と思い立ち八代旅行（？）

中学生の頃家族で行つた昔の記憶をたどり宿泊した、旅館をグーグルでさがす。

球磨川沿い。開業したばかりの温泉旅館。

八代駅から、肥薩線の鈍行に乗る、球磨川の沿線の景色、頭の中を時間がめぐ

る。葉木駅から、球磨川のせせらぎの音

を聞きながら歩くこと12、3分。目前に、木造建築の大きな3階建。

昔、かに族、こんな風情のある旅館、わくわくする。

廊下から見下ろす川には、いつも太方、山セミが、飛んでくると言う。じつと目をこらし耳を澄まし鳴き声を楽しみに待つたが、残念ながらお休み。

今日は、お客様は3階の球磨川沿いの部屋に一人、私だけ。

淵は温泉が湧き出ているので、餌を求めて、ヤマセミが飛び回り、時には勢いで、窓にぶつかり、ガラスが割られると言っています。



温泉に入り食事は、見事な尺鯛。ほぼ40分かけて焼あげられた逸品、あと日の前の球磨川でとれる山太郎ガニ、地元の野菜等そして、球磨焼酎で、優しい食事がいただけました。

夜は旅館の横を汽車が通過する。

日常と違う世界がありました。旅が好きな人にはおすすめ。小さな旅でしたが、馬鹿のようになります。



現在までの時間空間を楽しめました。この、私の小さな八代の旅はこれで終わりと思っていたら、先日の2月11日の八高大分同窓会の席で、ナントこの旅館の経営者は八高19回生と村山忍同窓会会長から、お話を聞きでビックリ。八高卒の大きな広がりを感じました。

もつとも、これを知ったのは、同窓会に出たことで分かったことです、同窓会に感謝。また、いけるかどうか分からぬが、今年も坂本の「ぼた餅祭り」においでと誘われているので、行ってみたいたいとも思う。

この「ぼたもち」は地区の人たちが作る逸品です。

毎年11月第2日曜日

今年は11月8日

予定でしたが、今回の球磨川の氾濫で坂本町も壊滅的被害を受けられているため、この「ぼたもち」が食べられる、坂本ふるさと祭りは中止ですが、ぜひ坂本の復活時には、「ぼたもち」を食べに「坂本ふるさと祭り」に出かけて楽しんでください。

又、3階建て木造温泉旅館「鶴之湯旅館」は、インターネットで確認すると支持者皆さんの協力に因まれて、そのまま、ありました。線路脇の旅館でその横がトンネル、鉄道写真が好きな人には、貴重な旅館です。多分、今度いくときには露天風呂が出来て、ことと思います。この旅館の若き経営者も、坂本ふるさと祭りには、なにか出店すると言つてました。

長崎地区同窓会

一步前進・第4回同窓会に新風!

徳永哲郎（高27回卒）

「リーン・リーン」1月中旬、自宅に一本の電話があつた。「初めてまして、Nと申します。八高出身で長崎大学の4年生です。長崎地区同窓会が2月1日に開催されることを知り、卒業記念にぜひ参加したいと思い、電話しました。参加できますか?」とのこと。うれしい便りで



○食べ物の問題です。
JA八代がブランド品として売り出しているものに「はちべえトマト」がありますが、新八代駅にはJR九州で3年連続人気No.1になっている有名な駅弁があります。さて、その駅弁の名前はなに?

馬鹿のようになります。

に10代から現在までの時間空間を楽しめました。

この、私の小さな八代の旅はこれで終わりと思っていたら、先日の2月11日の八高大分同窓会の席で、ナントこの旅館の経営者は八高19回生と村山忍同窓会会長から、お話を聞きでビックリ。八高卒の大きな広がりを感じました。

さて、第5回同窓会は、2月6日㈯に予定しているが、開催に悩む昨今である。最終的には、12月初旬に決定し、会員の皆様に連絡したい。会員の皆様、く

ある。二つ返事で承諾し、参加していただきたい。年配者（失礼）が多い中、新風を吹かせてくれたN君に、今更ながら感謝であります。コロナ蔓延が続く東京に就職というこ

と、「元気でいるだらうか?」

N君の飛び入り参加で盛り上がった第4回同窓会。コロナの兆しもなんのその! 常連組そろつて参加のもと、予定通りに2月1日に開催できました。今回は、「写真で見る八代市クイズ」を実施。写真を通して、郷里八代の様子を垣間見た。その中から一例を紹介したい。

球磨川河口の堤防から50mほど離れた所にある小さな島です。万葉集や枕草子の題材にもなった学術的価値と独特的の自然現象である不知火の観賞価値が評価され、平成20年に国指定名勝となりました。自然の神秘が味わえる絶景スポットとしても親しまれています。さて、「こはざい」?



○名勝地（観光地）の問題です。



球磨川河口の堤防から50mほど離れた所にある小さな島です。万葉集や枕草子の題材にもなった学術的価値と独特的の自然現象である不知火の観賞価値が評価され、平成20年に国指定名勝となりました。自然の神秘が味わえる絶景スポットとしても親しまれています。さて、「こはざい」?

戦禍の日々

西村謙一

私は第3回八代高校の卒業生で、「からいも会」の会員である。「からいも会」については、級友野々口哲朗君が「道第11号」に詳しく紹介しているので、今日は私の個人的体験を記そう。

私は1945年（昭和20年）3月旧制八代中学に入学した。入学試験前日だったと思うが、受験生全員が空襲の避難演習をさせられた。その頃までは、八代市は1、2回敵機の空襲があつたが、損害は軽微であった。しかし、東京は既に大空襲で焼かれていた。私達の避難場所は、確かに「奉安殿」の近くの防空壕だったと記憶している。今の若い人たちは「奉安殿」と言つても理解できないだろうが、そこは極めて神聖な建物であった。中には今上天皇と皇后の写真（「眞影」と言つた）が安置され、それと教育勅語が置いてあつた。奉安殿は全国の学校に建てられてあつた。

中学の授業が4月から始まつたが、やがて4、5年の上級生は軍需工場に勤員され、3年生以下の生徒は日常の授業は中止され、地域毎に分けられ、農家の手伝いや山の開墾に従事させられるようになつた。

日本の多くの都市が空襲で焼かれるようになつたが、八代市は夏になるまで空襲を受けなかつた。初夏の頃だつたと思うが、空襲警報が鳴り、戦闘機6機が縦列を組んで肉眼で見える距離に飛来した。初めて見る敵機である。ああ、敵機

かと見ていると、最初の機がピカ一と光つたかと思うと、突然急降下して爆弾を投下した。そして続く機が順々に急降下して、爆弾を放つた。私はこのような攻撃を初めて見たが、離れていたから恐怖よりもこの整然とした行動を見事だと見っていた。

真夏に近くになると空襲警報はよく鳴り、遠くの空にはいつもB29の姿があつた。

8月9日、その日は晴天で暑い日であつた。宮地の山で開墾作業をしている時、戻し前雲仙岳の方を見ると、真っ白い大きな雲があるではないか。

青空に雲がはつきりしている。その形はキノコ状で中央部がピンク色である。丁度、最近物理（物象と呼ばれていた）で、雲を習つたので、物理の先生になんといふ雲かと尋ねてみた。先生も分からぬと言う。誰もがその時には原子爆弾とは知るよしもなかつた。その雲は3時頃までにキノコ状から横に広がつていつた。家に帰つて初めて、新型爆弾と知つた。原子爆弾投下時の光と音は感じなかつた。

原子爆弾投下の前か、後の日か思い出せないが、近くの爆弾投下に遭遇した。その日も宮地の山の開墾の帰り、私は太田郷小学校の近くの川の所に来た。小学校に陸軍が駐在して、空を見上げる櫓が建つてはいた。櫓の上に兵隊が一人登り、周囲に響き渡るマイクの音量で状況を報告していた。空襲警報が鳴り、近くの敵機が襲来して来た。もうその頃は空襲警報は敵機が来てから発せられるようなことがしばしばあつた。私は急いで近くの民家の防空壕に入つた。櫓の上の兵隊は「敵機襲来」と叫んでいた。他の兵隊達は皆防空壕に避難しているのに、

櫓の上の兵隊は無防備で可哀想だと思つた。私が防空壕に入るとすぐ非常に大きい音がして、防空壕の壁土が落ち、防空壕が揺れ動いたように感じた。櫓の上の兵隊が、「製紙会社に、爆弾投下」と叫んだ。2、3発は爆弾が投下された模様である。製紙会社は、100m程度しか離れていない。危ないところだつた。もう少し爆弾投下の場所がずれていたら命がなかつたかも知れないと思つた。



石坂直行

にいなな会米寿祝同窓会を今年6月に開催する予定でした。

が、新型コロナウイルスの感染が各地に拡大して緊急事態宣言が全国に発令され、解除後も集会や外出自粛などが要請されました。

同窓会の中止を主に八代市郡に通知した後に反響が大きく、電話やお手紙をいだき大変残念がつておられるのを痛切に感じました。コロナが終息してからぜひ開催してほしいとの要望が多く、事務局ではこの熱望に応えるため、来春に開催する予定です。

幸いにして八代市内の大火災はなかつた。8月15日、終戦の詔勅があつたが、その意味が分からなかつた。友人が来て、休戦の詔書と教えてくれた。しかし、「敗戦」「無条件降伏」の意味を理解するには、2、3日かかつた。日本の旗色が悪くなつても、日本は必ず勝つ。必勝の信念こそ大切だと教えられ、作戦としては、敵をおびき寄せ、本土に上陸させて一気に勝利を得ると信じ込まされていた。軍艦が皆無に近い事実は隠され、密かに集まつて訓練されていると説明されていた。敗戦の事実を知らされて、国民のショックは大きかつた。

敗戦から米軍による占領、ミズーリ艦上の降伏調印式と時代は、急速に変わつていつた。9月から、中学の授業は再開されたが、食料がなく、昼弁当は、「からいも」2個で生きてゆかねばならなかつた。戦後の生活については、機会があれば記さう。



にいなな会事務局は「友情の絆」として存続しますので垣田照子様が私についてお気軽にご連絡ください。皆様方のご多幸を祈念いたします。

八高4回卒 にいなな会 米寿祝同窓会のご案内

日時…令和3年4月16日(金) 12時30分
会場…セレクトロイヤル八代
会費…7,000円
問い合わせ先…垣田照子 0965-333-7071
石坂直行 0965-34-6836 (不在時は留守電へ)

高10回卒 昭和33年卒

平家物語沙羅の花を求めて…

平家物語の冒頭文には「祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響きあり。娑羅双樹の花の色、盛者必衰の理をあらはす…」と書かれている。

京都市右京区花園の妙心寺塔頭東林院では、毎年6月15日から6月30日まで「沙羅の花を愛でる会」が方丈庭園を特別公開。庭園には約30本の沙羅の木が植えら



れ、梅雨の頃には白い椿に似た花を咲かせる。朝に咲き夕には散るところから別名「一夜花」と云われ、庭に散った風情も美しい。

関西三三会の恒例バスツアーは、令和2年度のコースに東林院を訪ねる予定であつたが、コロナの感染拡大防止の影響で今年度のバスツアーを中止。改めて令和3年6月21日(月)・22日(火)に同院を訪ねる予定。

仲良し10回生の集いも、高齢化とともに年々参加者が少なくなつたが、元気さを求めて6月は是非京都に集い下さい。

090-5674-6461
世話人 橋口敏昭

高20回卒 昭和43年卒

古希の宴



島田良治

高39回卒 昭和62年卒

卒業33周年同窓会

早川智浩

2020年1月2日 八代ホワイトパレスにおいて、熊本地震の影響で行つていなかつた卒業30年の同窓会をようやく開催できました。

この時、本当に無理にでも開催して良かったと思つています。

まさかコロナウイルス感染症がこんなにも広く蔓延してしまい、大人数の集まりが制限されるとは当時夢にも思つておりませんでした。

更に7月4日の水害はこれに追い打ちをかけることになり、八高関係者、同窓生で被災された方もあり、心よりお見舞申し上げます。

当初企画より遅れて開催した同窓会、実際は卒業33年となつてしましましたが、川島秀行先生、高野茂先生もご参加頂き、110名が楽しいひと時を過ごし

一気に各テーブルが盛り上がる。スクリーンには時代を追つたスライドが流れ、各場面で当時を懐かしんだ歓声が上がる。料理をつまみ酒を交わし、久しぶりの再会に会話が弾む。楽しい時の過ぎるのは早いもので終焉が近づき「道」の斎唱。歌詞に沿つた故郷の情景を編集したビデオを見ながら全員が大きな声で歌い最高に盛り上がり閉会の時。仲間の健康を願い万歳三唱。一次会の会場「白馬」へと移動の途中で妙見祭の前夜祭の催事を見学。二次会では名残を惜しむかのように語り足りない時間をさうに過ごし、楽しく素晴らしい同窓会をお開きとしました。



私どもの年代になると定年退職という概念が無くなり、還暦同窓会以降も現役サラリーマン、経営者が多くなると思われます。生涯現役という言葉が言葉の上だけでなく、現実のものとなり、いくつになつても派手な同窓会が開ける事を夢見て、同級生の今後の活躍と、コロナウイルスの鎮静化、水害からの早期の復興を祈りたいと思います。

頑張つてます

元C.A.、保険会社勤務で全国を飛び回っています

下野 恵さん（高57回卒）

私は2005年3月に八高を卒業し、インターナショナルエアカデミーに入学、在学中に国内線の客室乗務員（C.A）合格し、航空会社に入社しました。

2009年11月

には客室の責任者である先任客室乗務員資格を取得、2015年3月にはOJTインストラクターの資格取得し、実機教官としてC.Aに対して教育・指導を行つてきました。その後、グループコーディネーターを就任しましたが、

7月豪雨、炊き出しボランティアに参加して

金森尚子さん（高32回卒）

九州南部豪雨災害が起きた7月4日の翌日5日、ボランティア団体であるNPO法人ピース・プロジェクト（AARジャパン協力）が被災地入りして千丁コミュニティセンターを拠点に炊き出しボランティアを始めました。

たまたま同級生の一人がピース・プロジェクトのメンバーだった縁で、私は、世界最大級の金融サービス機関です。私は、

私は2005年3月に八高を卒業し、インターナショナルエアカデミーに入学、在学中に国内線の客室乗務員（C.A）合格し、航空会社に入社しました。

2009年11月

には客室の責任者である先任客室乗務員資格を取得、2015年3月にはOJTインストラクターの資格取得し、実機教官としてC.Aに対して教育・指導を行つてきました。その後、グループコーディネーターを就任しましたが、

7月豪雨、炊き出しボランティアに参加して

金森尚子さん（高32回卒）

九州南部豪雨災害が起きた7月4日の翌日5日、ボランティア団体であるNPO法人ピース・プロジェクト（AARジャパン協力）が被災地入りして千丁コミュニティセンターを拠点に炊き出しボランティアを始めました。

たまたま同級生の一人がピース・プロジェクトのメンバーだった縁で、私は、

この会社で、ライフプランナーとして、生命保険や資産運用、相続等に関するお客様の一生に寄り添ったオーダーメイドのプランを提供しています。国内線客室乗務員として11年間在職し、内8年間は客室の責任者である先任客室乗務員として乗務しました。緊急着陸も経験し、チームワーク、臨機応変さ、『諦めない心』を学び、どんなイレギュラーにも対応できることが大事であると学びました。外資系プリンデンシャル生命からヘッドハンティングを受け、『どうしたらお客様の役に立てるのか』本気でお客様の人生と向き合い、たくさん的人に笑顔あふれる人生を送つてほしいという想いで転職し、現在に至っています。生命保険や資産運用など一人一人に合わせたオーダーメイドのプランを提供し、本当の保険の良さや価値を知つて頂くことで「下野さんが担当で安心」と言つて頂けているよう、今後も日々成長し続け、多くの方に喜んで頂けるよう、全国を飛び回っています。

被災者の皆様からいたたいた「いつもありがとうございます」「美味しいかったよ」「毎日楽しみにしています」などの言葉は、私たちの励みとなりやり甲斐にも繋がつたようになります。とても良い体験をさせていただきました。

新型コロナを懸念して7月いっぱいまで炊き出しボランティアも一旦終了となりました。が、機会があれば是非また集まりましょうと同窓生もまだまだやる気充分の様子でした。



ミュージシャンとイラストレーター

同級生同士のコラボで CD誕生。

三輪真理さん（高36回卒）
緒方慎二さん（高36回卒）



2013年の秋、一通のメールが届きました。

「はじめまして。私は現在オーストラリアに在住しています。私は現在オーストラリアに在住しています。私は現在

も心地よい音楽ですね。CD

アーティストの購入をしたい

のですが、どう

のよにした

らいいので

しょうか？」

いくつかの

やり取りか

ら、それが同

級生の緒方慎二さんだ

りました。緒方くんはオーストラリアの

ブリスベンで画家をしておられます

が実家に届いた八高の同窓会案内からネット

を検索し、たまたま私のブログを見つ

けて連絡をくれたようでした。私は広島

在住で自分の音楽活動の一環としてブロ

グを書いていました。

30年ぶりでした。緒方くんと私は幼

稚園時代からの幼なじみ。当時から私は

ピアノが好きで、緒方くんは絵が好き。小さい頃から好きだった道にお互いに進めたことを共に喜び合いました。ただ私自身は一直線に音楽の道を選べたわけではなく、糺余曲折の末ようやく音楽を仕事の1つにできるようになつた頃でした。こうして年明けの学年同窓会で私たちは嬉しい再会を果たしました。



三輪真理さんのオリジナル曲の入ったCD「Retrospective」。ジャケットのイラストを緒方さんが担当した。

さてその翌年のこと。縁あって東京のプロミュージシャンの方から一緒にCDを作りませんかというお話をいただきました。私のオリジナルCDです。ジャケット画は、という時、ふと緒方くんのことが頭に浮かびました。緒方くんに相談するすぐに快諾。メールやスカイプで話すうち、スカイプを使って描いた私の肖像画をジャケット画にしては？ と緒方くんからの提案がありました。

春のある日、広島の自宅のパソコンの

前でポーズを取る私をブリスベンで緒方

くんがスケッチし、その肖像画がジャ

ケット画になりCDは完成しました。冬

には緒方くんの初の日本での個展と私

のライブを八代と広島で開催。海を越えて

同級生と互いの特技で一緒に作品作りが

でき、感無量でした。

それから5年。緒方くんと海を越えての交流は続いています。いつかまた一緒に何かできるといいなと願っています。

（三輪真理）

近年SNSの世界的な広がりによって、殆どの地域で我々は気軽に情報交換が出来るようになりました。ぼくの場合、多くの情報を海外からも十分に得られて、以前の不便さと比べれば、それは本当に計り知れない程の恩恵を実感しています（笑）。SNSは上手に活用しています。

本当にSNSの世界で広がりになりました。

（緒方慎二）



緒方さんの描いた八代宮



Story Bridge&Jacaranda

緒方慎二さんプロフィール

八代市出身、多摩美術大学卒。オーストラリア、ブリスベン在住の水彩画家。自宅で絵画の指導も行う。海外移住後、日本の良さを再認識し、日本の伝統的な描線を活かした画法「アコースティック・ドローイング」を編み出します。現在も幅広く活動中。

三輪真理さんプロフィール

八代市出身、広島大学卒。広島在住の音楽家。シンガーソングライター、ピアニスト。幼少期から高校までクラシックピアノを学ぶ。現在は広島を中心にお客リストおよびボーカリスト、作詞家、作曲家として幅広く活動中。

（緒方慎二）

パイプラインで世界をつなぐ

伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社
西田裕幸さん（高41回卒）



家族とコペンハーゲンを訪ねる

私は横浜国立大学を卒業し、海外への漠然とした憧れから、伊藤忠商事に就職しました。配属は鉄鋼部門、その後、伊藤忠と丸紅の鉄鋼部門が統合して伊藤忠丸紅鉄鋼が誕生、以来、当社社員として楽しい商社マン人生を歩んでおります。

会社人生は27年強ですが16年は海外在であり、漠然とした憧れは現実のものとなっています。これまでの駐在地は台北、北京、バンコク、ニューヨークと四都市、仕事はいざれもダイナミックで充

平成元年卒業（41回）の西田裕幸です、今でも八高グランドで野球をしている夢を見ます（甲子園に行きたかった……）、私は今年50歳、これまでの歩みを振り返ってみても八高での3年間は燐然と輝き、また机を並べた友達が今でも自分の人生に彩を与えてくれています。



アメリカ、ヒューストンのパイプヤード

私が現在、所属している部署は鋼管本部といつて石油、ガスの掘削用のパイプ、掘った石油、ガスを運ぶパイpline用のパイプを供給するのが主なビジネスであり、全世界に供給拠点を持つてオイルメジャー等との取引を行っています。商社勤務というと八高時代、英語は得意でしたか、と聞かれそうですが全くダメでした。しかし言葉はあくまで道具、ビジネスは結局人と人との繋がりであり、よって人間力の勝負だと思います。生徒の自主性を重んじる校風の八高、その3年間で人間力は磨かれたはず（？）との信念のもと、これからも頑張つて行きます。

実したものであり、プライベートでもそれぞれの地で様々な人に出会い、時に家族ぐるみで付き合い、人生の友もたくさん出来ました。

切っ掛けは八代のキリストンの殉教者を描いた音楽劇に出演したことですね。それまで縁もゆかりもなかった演劇という分野に足を踏み入れ、どっぷりと浸かってしまいました。今では二つの団体に所属し、自分で作・演出をすることもあります。2016年に作った『怪談君ヶ淵』では、八代と全国に散在する「君ヶ淵」の伝説を調べ上げ、一つの怪談話に仕立て上げました。度々再演を望まれる良い作品になつたと自負しています。

よく演劇の魅力は何かと聞かれますが、自分でも分かりません。お金も時間もかかり、ひたすら苦しく、これが終わったら辞めようと何度も思うのですが、公演が終わるともう次の作品の事を考えているのです。人と力を合わせないと出来ないというのが魅力といえば魅力でしょうか。演劇は「コミュニケーションの芸術」です。人から何かを受け取り、何かを伝える、この連続で出来ています。そしてキャストとスタッフとお客様が一つになつた時に生まれる感動は、他の何にも



地元での劇団活動を中心で全国で活躍

村山優一郎さん（高49回卒）



代えがたいものになるのです。八代では子ども達と一緒に演劇活動をしてますが、彼らもコミュニケーションを大切にする人間に成長していってほしいと思っています。

現在、一つの戯曲を書いてます。私が演劇を始める切っ掛けになつた作品と同じく、八代のキリストンの殉教の事件を題材とした話で、江戸時代と現代の人を結びつける作品を目指してます。新型コロナの影響でいつ上演出来るのかも分かりませんが、完成した暁にはぜひ「来場ください」。

会員紹介 八代版

栄えある「オレンジリボン 芸術大賞」を受賞

村上満智子さん（高11回卒）



私は、絵を趣味で描いている。唯ひたすら「いい絵」が描きたい一心で、賞は貢つたことはないが別に欲しいとも思わない。絵は自己表現であり、自由でいい、自分を磨く外ない。高校時代から、茶道・絵を学び、途中数年間のブランクはあるが、遊びながら続けてきた。恩師松本得三先生に、自分の絵を描け！ と学んだ。自分にしか描けない絵、日本人が描く油絵を意識した。茶道は総合芸術であり、美術・工芸・花・禅語等の日本文化全般に亘っている。ひとりよがりにならない事、慮ることを大切に思う。

12月8日～12月13日 日・仏友好オリジナル切手展inパリ 切手誕生180周年記念 日本郵政制作 84円記念切手になる。パリのギャラリー「ラネットルージュ」於 展示終了後発売となる。

干潟を守る活動を 続けています

高野茂樹さん（高18回卒）

大学で生物学を学んだ私は、高校の生物教師として働き、退職後にはクロツラヘラサギ（トキ科）をテーマに学位を得、野鳥に目を向けながら過ごすことができました。1981年、母校に赴任した頃は各地の干潟が失われていた時期でしたが、球磨川河口干潟には多くのシギ・チドリ類が飛来し、干潟が大切な生息地になっていました。1988年には「野鳥を楽しみ、野鳥と人との共生でくる環境の保全」を目的に『八代野鳥愛好会』を設立。会員数は20～30名の小さな数ですが、これまでに300回を超す月例探鳥会を実施、会誌「カワセミ」は第33号を発行。その間、八代市に「市の鳥」カワセミを推薦、球磨川河口干潟の「ライウェイ・ネットワーク（シギ・チドリ類）への参加を請願、人と野鳥が共生できる環境が整えられることに尽力など）の活動が認められ、2017年に「熊本県環境賞」、2018年には「地域保全功労者環境大臣表彰」を受けることができました。先年、荒尾干潟がラムサール条約湿地に登録されました。干潟の恵みをワイズコース（持続的・賢明な利活用）しつつ、湿地生態系の保全を目指しています。



絶滅危惧IB類に指定されているクロツラヘラサギ、毎年越冬するため、日本には500羽ほど飛来、球磨川河口などの干潟では約100羽ほど見ることができます。

農事組合法人 鶴喰の花村でございます

早川博秋さん（高25回卒）

八代市坂本町 鶴喰（つるばみ）は、戸数約70戸、人口約140人の小さな山間集落です。

52歳で帰郷。齢66にしてささやかな夢があります。「農事組合法人 鶴喰の花村」を年商5千万円の企業となし、地元の若者が定住（結婚・出産・育児）できる経済的環境を創り上げることです。



私は、高25回卒。大阪外国语大学、三ズノ㈱、㈱レザックス、自営業を経て、平成29年なの花村設立の一員となりました。なの花村の中核商品は、「鶴喰米」(つるばみまい)です。特別栽培米・熊本県うまい米基準5ランク認証の「鶴喰米」は、ブランド米として着実に育ちつつあります。第2の柱のアスパラガス。戦略作物としてのニンニク。いずれも、順調に売上を伸ばしています。

この場を借りて同窓会の皆さんにお願いです。八代市へのふるさと納税の使い途として「7月豪雨の災害支援金」を、返礼品として「鶴喰米」を「指名ください。坂本町の復興と鶴喰を救う貴重な力となります。よろしくお願いします。



PTA・同窓会の多くの方々のご支援の下、奉納馬の調教の活動を続けております。現在は、同窓生を中心に行なう。同窓生を骨をすり減らしながら活動しております。八代内外に誇れる祭りに我が八代高校同窓生として一役を担つて八代の文化継承に少しでも尽力でできればと思つております。今後も、多くの方々から愛される八代同窓会飾馬奉納会でありますよう精進してまいります。

興味のある方は何時でも歓迎します。

八高同窓会飾馬奉納会

山崎 宏治さん (高28回卒)

堀池 美千代さん (高28回卒)

ロマンを求めて

私は37年間中学校の音楽科の教師を勤め退職しました。それまでには山あり谷ありで、定年までもつかと思ったこともありました。これから自由にしていい余儀なくされおられる事と推察いたしました。さて、この様な状況の中、今年度の妙見祭において飾馬奉納の中止が決定されました。誠に残念ですが、高校創立九十周年を機に立ち上げた会で、学校

樂部を指導し少人数のコンクールで南九州大会に駒を進め鹿児島で演奏を披露しました。樂器未経験の生徒に一から教えられたので苦労も多かったのですが、宿泊地の霧島温泉で白濁の湯に3回かかると苦労も吹き飛びました。

また昨年は日奈久中学校に転勤しましたが、毎年ミュージカルを上演していました。樂器未経験の生徒に一から教えられたので苦労も多かったのですが、宿泊地の霧島温泉で白濁の湯に3回かかると苦労も吹き飛びました。

「コーラスライン」を中学生用に脚本から制作して取り組みました。これは50名

の全校生徒がステージで踊り演じるもので、昨今の中学校の厳しい状況下でこれをやり遂げられたのは日奈久の穏やかな風土でのびのびと育つた子どもたちだからこそと自負しています。

私がこれまで演劇やミュージカル、吹奏楽でのマーチングを指導してこられたのも、八高時代に俳優として活躍されている同級生の岩崎幸代さんから誘われ演劇部のお手伝いで演劇コンクールにも出場した経験が活かされているんだろうと思います。よく「教育はロマンだ」と言われます。教職生活40年を迎えた今、まさにそのことを噛みしめながら孫のような生徒たちと日一杯音楽を楽しんでいる今日この頃です。



松井君と私

白石勝裕さん（高44回卒）



平成4年
度卒業の白
石勝裕で
す。昭和49
年生まれ
で、読売巨
人軍や大
リーグで活
躍した松井
秀喜君と同
学年です。
私は八代
高校卒業
後、東京農
業大学に進学し、実家の郡築にて就農し
ました。現在はトマト1.7haと水稻3
haを栽培しています。東京ドームが約4.
7haですので、松井君が活躍した東京
ドームと同じ広さです。結婚は松井君よ
り少し遅れて、35歳の時に八代高校の後
輩で5つ下の妻と結婚しました。その後
子宝に恵まれて、小学2年生の長男を頭
に三男二女の5人授かりました。次男か
らは年子の双子に年子とギュットつまつ
てあります。すべて立ち会いましたが、双
子もすべて自然分娩で出産した妻はすご
いと思います。

長男から5人とも坂本のかわたけ保育
園にお世話になっています。裸足で泥ん
こになりながら、川遊びや山歩きなど、
坂本の自然のなかで毎日いろんな体験を
していました。ところが7月の豪雨で保
育園は屋根まで浸かり、いつもSしが通
ると手を振っていた球磨川第一鉄陵も流

されてしまいました。普段の光景からは
信じられないような凄まじい水害です。
現在は鏡の西部小学校跡地を借りての保
育で、先生方も被災されながら子供た
ちを預かっていただき感謝しかりませ
ん。今回被災された方々が、少しでも早
く以前の日常を取り戻されることを心よ
り願います。



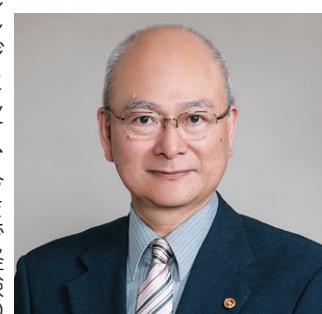
5人の子どもを育てる郡築のトマト農家



最後に「ジラ」の愛称で活躍した松井君
ですが、「うちの五児等もこれからどんな
活躍をしてくれるのかを楽しみに、仕事
に子育てにとめまぐるしい日々を頑張つ
ていいかと思います。

八代商工会議所 新型コロナウイルスへの 取り組み

八代商工会議所専務理事
松本 章さん（高25回卒）



私は八代
高校25回卒
業生で、山
岳部にも所
属しております。
私は令和元年
9月に65歳
で新たな仕
事へのチャレンジとして、今まで経験の
ない役職を拝命しました。

商工会議所は地区内における商工業者
の共同社会を基盤とし、商工業の総合的
な改善発達を図り、兼ねて社会一般の福
祉の増進に資し、もつてわが国商工業の
発展に寄与することを目的としておりま
す。この目的に従つて、今回新型コロナ
ウイルスへの取り組みを行つております。
まず、2月下旬に新型コロナウイル
スに対する金融政策を、他市に先駆け、
市内の全金融機関に呼びかけ、八代金融
対策意見交換会を開催いたしました。全
国で感染拡大が進み飲食業、旅館業をは
じめ経済に影響が進むなか、会頭の判断

により、経済四団体に呼びかけ、八代市
に新型コロナウイルス対策支援事業の提
案を行いました。市では様々なコロナ対
策支援等が実施されています。特に飲食
業等では、政府の外出自粛要請、熊本県
休業要請などで飲食店等の経済状況が悪
化してきました。そこで、経済四団体で
「八代飲食応援隊」で、飲食店向けクラ
ウドファンドを立ち上げ、7月上旬には
総額三百万以上の支援金を飲食店等に
届けることができました。しかし、全国
的に感染が拡大するなか、安心して飲食
店等に行ける状態にあるのか不安を感じ
ました。熊本県では「感染防止対策チエ
クリスト」が作成されましたが、な
かなか事業所に浸透していませんでした。
そこで、熊本県南広域本部、八代
保健所、八代市と協議し、6月22日に「安
心なまちやつしろプロジェクト」の発会
式を行い、「八代感染防止対策チエック
リスト」を全事業所で作成のうえ公表し、
感染防止と経済活動のバランスをとり、
官民一体となり推進することになりました。
同窓生の皆様もどうぞ、安心なまち
やつしろの推進にご協力頂きますようお
願い申し上げます。詳細は、八代商工会
議所のホームページでご確認ください。



八高の思い出

空手道バカ一代

村岡 正さん（高24回卒）



空手部があつた高校は
県内では十校程度とい
つ真にリアでマイナー
な部活動であつたことは
否めません。創部当
時は造詣深い名のある
教えを乞うたのでしょ

で1分たりとも学習机に向かつたようなら覚えがなく（部活動を引退した後も、卒業まで懈怠の悪習は治しようがなく）叱責した同輩たちが立派になり、今となつては後悔と屈辱の念に苛まれるばかりです。夏は暑く汗臭く、冬は冷たさに震ふながらも、そんな仲間と部を盛り上げ、2年生の秋には九州大会出場権まで獲得していました。高空連（昭和47年まで高体連にも入れて貰えない体育部であり、全国高校空手道連盟に各校空手部は加盟）の試合は自由組手のみであり、専ら組手に練習時間を費やしていました。日々の練習は、体力、基本、間合い、やさき、緩急、攻撃の追及であります。

私が女優になつたわけ

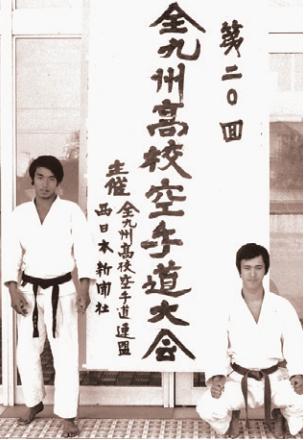
岩嶋幸代さん（高28回卒）



私がハ高の校内で最も親しんだ提

を与えてくれたことに今は感謝ですー
遠い昔の話。時は待たず、記憶の欠片は
霧中に。結びに母校空手道部の今後の隆
盛と後輩たちの百折不撓の努力を祈念し、
し、まとまりの無いまま回想録を閉じま
す。押忍!!

第二回



秋空手道大会

小ることも
よく叱咤し
年半の部活
期間以外は
四六時中
空手のこ
とばか
り、頭が
メリウス
の帶状態

30年間空手の指導者となつた私は、そのトラウマからか生徒・弟子たちには歯を見せての練習を厳に禁じたものです。当時から空手は武道であるという概念があり、「礼に始まりて礼に終わる」を真つに教えられ、今も頭に刷り込まれています。八高空手（道）部精神は今も当部で汗を流した者には受け継がれていることでしょう。空手の教えを心身に刻み、我が青春のメモリ領域を占有した空手部。その後の人生に味彩

う。二つ上の先輩方の演技が上手で思わず見入ってしまった。そのうちのお一人は、入学してすぐに、我が1年10組の教室にオリエンテーションに来て下さった方だった。個性的な声と演技。確かお名前を「藤田さん」と仰ったように思つ私はすぐに入部を決めた。それが、あの部室との付き合いの始まりだ。

体育馆の2階、向かって右手のステージ脇である。今でも手に取るように思ひ浮かぶ部屋の中の様子、窓から見える景色、夕暮れていく空の色、匂い……。

みであつた。おそらくそれが、今私がここにいる原点だらうと思う。もう一度あの部室を訪れることができたなら、さて今度は、どんな魔物が私を誘惑してくれるだらうか。



部室にある木棚で見つけたのは演劇誌『テアトロ』だったか『新劇』だったか。部費で毎日

武澤直穂さん(高72回卒)

立命館アジア太平洋大学1回生

大学生紹介

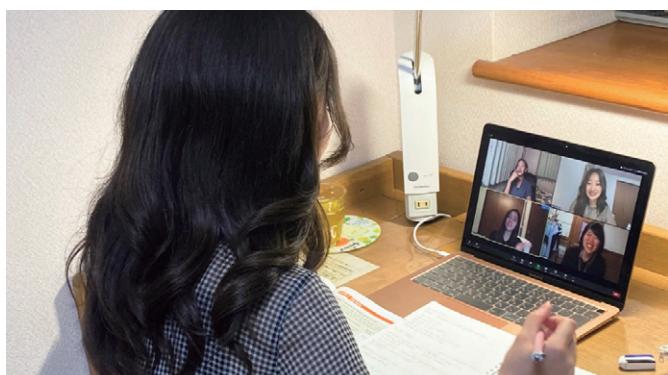
上田利瑳子さん(高65回卒)

九州大学大学院

マイナスをプラスに、そして今、できることを!

私が通っている立命館アジア太平洋大学(APU)は、日本各地から集まる国内学生に加え、全学生の約半数は90以上の国や地域から集まる、多文化・多言語環境の大学です。それ故勿論、新型コロナウイルスの影響で春セメスターは全てオンライン授業になりました。志望校に合格した喜びも束の間で、入学式もない、念願であった国際生と生活を共にする国際寮APハウスには、いつ入寮できるかわからない、何だか少々色あせた大学生活の始まりとなりました。

また、突然の慣れないオンライン授業も不安でいっぱいでした。しかし、手厚い先輩方のサポートもあり、毎日の課題、グループミーティングなど、始まってみると一日があつという間に過ぎていきます。授業の中では、グループワークやディスカッション、プレゼンテーションなど多いため、オンライン授業では言葉の壁をより一層感じる事も多々あります。一方、より多くの人と意見を交換できるという点では、対面授業より良いと感じています。



オンラインでディスカッション

私は今、憧れだったGASS (Global Admissions Student Staff) という学生団体に所属し、オープンキャンパスを主催して高校生にAPUの魅力を伝える活動を行っています。新型コロナウイルスの影響で、少々稀有な大学生活の始まりとなりましたが、置かれた環境の中で自分にできることを考え、新しいことに挑戦し、充実した大学生活を送っていきたいと思います。そして、今はまだぼんやりとしている将来像をくっきりとしたものに変えていきます。

高校生の皆さん、新型コロナウイルスの影響を受けて不安を感じている人も多いと思いますが、今を大切に、様々なことに挑戦し充実した高校生活を送ってください。応援しています!



高校生の時訪れたオープンキャンパスで案内してくれたGASSの先輩と

教育現場や行政の課題をデザインで解決していきたい

【経歴】

八代高校65回卒。九州大学21世紀プログラム卒業後、九州大学大学院統合新領域学府ユーザー感性学専攻感性価値クリエーションコースへ進学し、この秋に卒業。

私は一昨年結婚・出産し、今年は子育てをしながらの修士論文執筆、就職活動となりました。学業では、預ける先がなく子ども同伴で授業を受けなければならなかったり、授乳室がなかったりと、慌てたこともある反面、困った時に気軽にお頼いできる友達や後輩が近くにいるのは心強かったです。ま

た、子育ての先輩でもある先生が、「10年後には、子どもが仕事にアドバイスやヒントをくれることもある」と教えてください、子育ても仕事も長い目で楽しみにしています。コロナ禍での就職活動は、イベント中止などデメリットもありましたが、オンラインの面接により自宅で受けることができたのは、子どもがいる私にとってメリットでした。

来春からは、GMOペパボ株式会社のITプロダクトのデザイナーとして働きます。ウェブサイトやアプリの見た目を良くするだけでなく、サービス設計なども幅広く考えるUI/UXデザイナーです。デザイナーはセンスを問われるものだと思われるかもしれません、最も大事な力は「使う人のことをどれだけ考えられるか」だと思っています。「何のため、誰のためにデザインをするのか」という理由を持っている人なら、やり方はいくらでも学べます。私もその一人です。

これからは、ただかっこいいデザインを作るのではなく、デザインを通して困っている人に手を差し伸べられるようになりたいです。デザイナーは、教育現場や行政の難しい・分かりにくい仕組みを変えることだってできるんです。そんなふうに、根本的なことからより良くできる、影響力のある仕事を行うプロのデザイナーを目指しています。



No More Wars

今年、日本は戦後75年を迎えました。今や戦争体験者は減少し、戦争遺構も姿を消しつつあります。それは遺骨においても同じです。私は遺骨収集ボランティアとして、2月に沖縄へ行きました。そのきっかけは、沖縄戦で戦死した大伯父の遺骨や遺品を探すことでした。

沖縄は2月でも気温が25度を超えていましたが、ガマ(壕)の中は暗く、水滴が垂れ、冷たい空気が満ちていました。ガマは沖縄戦において日本軍の陣地や住民の避難壕となり、激しい攻撃に曝され多くの悲劇を生みました。原形をとどめないほど破壊されたガマは、今では内部に入ることも危険で難しいものです。しかし一歩中に入ると、錆びてはいるものの薬莢などが75年前のまま残っていました。それから数時間地面を掘り続けると小さな骨片を見つけることが出来ました。名前も知らない誰かの骨が私の手の中にある、それは、戦争の無惨さを心から実感した瞬間でした。また、一日も早く大伯父を故郷に帰したいという思いもより強くなりました。

戦争の悲劇は、沖縄だけではありません。八代高校(旧制八代中学)出身の戦没者も多く、陸海軍の特別攻撃隊の方



収集した遺骨

や、空母「飛龍」の艦長がいます。生徒も機銃掃射で負傷したり、空襲からの復旧作業中に事故死したりしています。75年前、私たちの先輩である八高生もまた命がけで暮らしていました。

今年はコロナ禍で日常が一変しました。これまで当たり前と思っていた勉強や部活が突然できなくなり、改めて平和のありがたさを感じました。そして、戦争体験の継承への思いも強くなりました。

将来は、国際問題の解決などの仕事に従事し、より平和な社会を構築することに貢献できればと考えています。



調査した沖縄のガマ(壕)にて

第39回 全国高等学校クイズ選手権出場

昨年9月に行われた第39回全国高等学校クイズ選手権に、当時2年生の田中颯眞くん、林田昌大くん、濱田康生くんが見事県予選を勝ち抜き、熊本県代表として出場しました。今回この素晴らしい経験をされた3人に感想を聞いてみました。



左から田中君、林田君、濱田君

Q1. クイズを始めた動機を教えてください。

田中 小さい頃からクイズ番組やなぞなぞの本をよく見ていて、興味がありました。

林田 小学生の頃からクイズ番組を見ていて、知らない専門用語や、身近なものや現象にも名前がついているのが面白いと思ったからです。

濱田 昔からクイズ番組を見ていて興味がありました。

Q2. 出場するきっかけは何ですか?

田中 小学生の頃に初めて番組を見た時から出たいと思っていました。以前は全国大会がアメリカで開催だったので、クイズが出来ればアメリカに行けるかも!と楽しみにしていました。

林田 中学生の時見た番組で、勝ち進んだチームがアメリカまで行って、豪華な会場や面白いゲーム形式でクイズをしていて、面白そうだったからです。

濱田 前年に県予選決勝で負けてしまい悔しかったのですが、翌年奇跡的にメンバーが揃い、もう一度チャレンジしたいと思ったからです。

Q3. 周りのチームの印象はどうでしたか?

田中 色々な人がいるなという感じでした。ずっとルービックキューブで遊んでいる人や、銀髪に染めている人がいました。全国の高校生と交流できたのは、すごく刺激になりました。

林田 皆、とても頭がよさそうで物静かに見えましたが、話してみるととても明るく、面白く、そして皆クイズが大好きだと感じました。中には変人?と思うほど個性が強い人もいました。

濱田 クイズに限らず色々な特技を持っている人が多かったです。

Q4. 大会に出た後、自分はどう変わりましたか?

田中 以前より一つひとつの機会を大切にするようになったと思います。

林田 自分が住んでいる場所がとても小さな場所で、まだ見ぬ広い世界があると実感しました。そして自分とは異なった世界観を持った、様々な人たちと話してみたいと思いました。

濱田 同学年にこんなにもすごい人達がいるんだというよい刺激になりました。

Q5. 学校での反応は何かありました?

田中 クラスマートや先生達からの反応が大きかったと思います。

林田 自分たちの回答が司会者の枠さんにツッコミをもらった所をよくいじられました。また番組を見て知った先生方に声をかけられたり、褒められたりしました。

濱田 意外と話題になったが、映った時間が少なかったので、そこで反応も長引かなかったです。

Q6. 覚え方のコツを教えてください。

田中 関連付けです。

林田 覚えたいと思った言葉を一度覚え、ふと思い出した時などに確認して覚えていました。印象に残った問題は、最初の印象を心に刻みながら覚えています。

濱田 とにかくクイズをたくさん行い、いろんな問題に触れることです。

ちめでとうございします

瑞宝大綬章受章



高20回卒の折木良一さんが今春の叙勲で瑞宝大綬章を受章されました。折木さんは八高卒業後、防衛大学校に進学、その後陸上自衛隊に勤務され、中部方面総監、幕僚長を経て、2009年には統合幕僚長に就任され、自衛隊トップとして自衛隊活動全般にわたって指導力を発揮されました。また、2011年の東日本大震災では被災地対応を陣頭指揮されました。折木さんの長年にわたる自衛隊での功績に対し、この瑞宝大綬章が贈られたのです。

折木さんのこの名誉ある受章は同窓生としても大変誇らしいもので、同窓生一同で喜び合いたいと思います。

瑞宝大綬章受章に思う

折木良一

令和2年春の叙勲において、はからずも瑞宝大綬章受章の榮に浴し、7月末、皇居に参内し天皇陛下より勲記勲章を拝受けました。この身に余る光栄に際して、改めて約40年間、自衛官として勤務できたことを心から誇らしく感じています。そして、この世に生を授けてくれた今は亡き両親をはじめ、人生の基盤や方向性を与えてくれた講座を心掛けるのは、3児の母である子どもから高齢者まで、対象に合わせて講座を開くなど、地域に根差した取り組みを続けています。

「災害が起きたときに、自分自身で考えて行動できるような知識を伝えることが大切」と話しています。

福岡管区気象台 台長賞受賞

広報委員の早田英（57回）さんが福岡管区気象台の気象台長賞を受賞しました。気象業務に貢献した個人や団体に贈られる賞で、直近3年間で、お天気教室や防災ワークショップを県内外で60回以上開き、安全知識の普及啓発に尽くした功績が評価されました。



住所変更時の連絡のお願い

住所を変更されたら、事務局までご連絡ください。

連絡先 〒866-0885 熊本県八代市永碇町856
熊本県立八代高等学校同窓会
TEL 0965-33-4138
FAX 0965-35-8463
事務局直通 080-2743-9712

メールアドレス
85jimukyoku@hachiko-dosokai.com
同窓会ホームページからも住所変更の手続きができます。
ホームページアドレス
<http://www.hachiko-dosokai.com>

大学生が指南役!!

現役大学生による八高生フォローアップ事業を始めます。

新型コロナによって、多くの大学で入学式が行われず、教室での対面授業も行われず、自宅でのリモート授業が日課になっています。志望校決定に大きな影響を与えるオープンキャンパスも開かれず、受験生にとって不安な日々が続いています。そこで同窓会では、全国にいる八高卒の現役大学生により、大学や学部の紹介、受験情報などをSNSを介して伝えるなどして八高生をフォローアップしていく事業を始めいくことになりました。現在体制作りや運営方法について調整中です。決定次第同窓会のホームページに掲載する予定ですので、詳しくはそちらをご覧ください。

平成31年度 八代高校同窓会会計 決算

1 収入の部				
費 目	予算額 (A)	決算額 (B)	差異 (A - B)	摘要
年 会 費	5,000,000	4,516,350	483,650	2,031人分(内訳下表)
入 会 費	1,200,000	1,205,000	-5,000	5,000×237名分
雑 収 入	200,000	443,859	-243,859	名簿代、寄付(高37回他)
合 計	6,400,000	6,165,209	234,791	

2 支出の部

費 目	予算額 (A)	決算額 (B)	差異 (A - B)	摘要
会 議 費	60,000	17,651	42,349	会議諸経費
印 刷 費	120,000	100,776	19,224	総会案内状
役 務 費	600,000	450,446	149,554	郵便・通信費、HP管理費、払込手数料
広 報 費	4,000,000	3,623,420	376,580	会報発行費
備品消耗品費	100,000	31,990	68,010	用紙代、プリンターインク代
慶弔 費	200,000	118,616	81,384	弔電代、広告料、教職員記念品代
人 件 費	800,000	800,000	0	事務局手当
新入会員歓迎費	300,000	52,800	247,200	校歌CD、卒業証書入れ丸筒代
旅 費	1,000,000	886,120	113,880	支部地区同窓会出席旅費
雑 費	350,000	230,825	119,175	花馬補助等
地 区 補 助 費	260,000	260,000	0	支部・地区通信費への補助
積 立 金	1,000,000	0	1,000,000	次回周年事業費(特別会計へ)
合 計	8,790,000	6,572,644	2,217,356	

前年度総越金	17,308,748	17,308,748	0	
当年度収支差額	-2,390,000	-407,435	-1,982,565	
次年度総越金	14,918,748	16,901,313	-1,982,565	

金銭管理状況

普通預金	九州労働金庫	1,033,279	年会費振込金額	人 数	総額
普通預金	肥後銀行	2,345,833	2,000 円	1,990人	4,128,350円
振替口座	ゆうちょ銀行	2,652,965	4,000 円以上	41人	388,000円
定期預金	九州労働金庫	7,017,866	合 計	2,031人	4,516,350円
定期預金	熊本県信用組合	3,851,370			
		16,901,313			

令和2年度 八代高校同窓会会計 予算

(単位 : 円)				
費 目	本年度 予算額 (A)	前年度 予算額 (B)	差異 (A - B)	摘要
年 会 費	5,000,000	5,000,000	0	2,000円×2,500人
入 会 費	1,200,000	1,200,000	0	5,000円×240名分
雑 収 入	200,000	200,000	0	名簿代、寄付、預金利息等
合 計	6,400,000	6,400,000	0	

2 支出の部

費 目	本年度 予算額 (A)	前年度 予算額 (B)	差異 (A - B)	摘要
会 議 費	30,000	60,000	-30,000	会議諸経費
印 刷 費	20,000	120,000	-100,000	
役 務 費	550,000	600,000	-50,000	郵便・通信費、HP管理費、払込手数料
広 報 費	4,000,000	4,000,000	0	会報発行費
備品消耗品費	50,000	100,000	-50,000	用紙代、プリンターインク代
慶弔 費	150,000	200,000	-50,000	弔電代、広告料、教職員記念品代
人 件 費	800,000	800,000	0	事務局手当
新入会員歓迎費	400,000	300,000	100,000	校歌CD、卒業証書入れ丸筒代
旅 費	100,000	1,000,000	-900,000	支部地区同窓会出席旅費
雑 費	300,000	350,000	-50,000	飾馬補助等
地 区 補 助 費	260,000	260,000	0	支部・地区通信費への補助
積 立 金	0	1,000,000	-1,000,000	次回周年事業費(特別会計へ)
合 計	6,660,000	8,790,000	-2,130,000	

前年度総越金	16,901,313	17,308,748	-407,435	
当年度収支差額	-260,000	-2,390,000	2,130,000	
次年度総越金	16,641,313	14,918,748	1,722,565	

八代高校同窓会 各支部・地区同窓会 連絡先

■ 八代高校関東地区同窓会

会長 勝井梅子 (高21回) 事務局長 後本一幹 (高21回)
事務局所在地 〒207-0013 東京都東大和市向原3-900-23 後本一幹税理士事務所内
TEL 042-563-9218 FAX 03-6369-3461

定例総会 毎年9月の土曜日 東京都内の会場で開催

■ 八代高校東海同窓会

会長 坂田孝之 (高18回) 事務局長 岩崎健作 (高23回)
事務局所在地 〒460-0002 名古屋市中区丸の内1-14-24
ライオンズビル第2丸の内705 旅行プランサービス内
TEL 052-204-1945 FAX 052-204-1943

■ 八高関西同窓会

会長 宮崎正郎 (高14回) 事務局長 新村 守 (高49回)
事務局所在地 〒530-0047 大阪市北区西天満5丁目9-3 アールビル本館7階
弁護士法人上・新村法律事務所 新村守方
TEL 06-6316-8364 FAX 06-6316-8368

定例総会 每年6月の第1土曜日 大阪市内の会場で開催

■ 八代高校岡山同窓会

会長 久保田壽一 (高18回) 事務局長 江村清二 (高20回)
事務局所在地 〒703-8262 岡山市中区福泊11-118 江村清二方 TEL 086-276-8050

■ 八代高校広島県同窓会

会長 片山茂光 (高19回) 事務局長 村田栄治 (高28回)
事務局所在地 〒738-0036 廿日市市四季が丘4-6-14 村田栄治方
TEL 0829-88-9211 (Fax兼用)

■ 八代高校山口県同窓会

会長 山下鐵洋 (高14回) 事務局長 中村裕子 (高21回)
事務局所在地 〒755-0151 宇部市西岐波村松402 中村裕子方 TEL 0836-51-1046

■ 八代高校同窓会福岡支部

事務局長 磯部和之 (高23回)
事務局所在地 〒811-1346 福岡市南区老司2-23-80 磯部和之方 TEL 092-565-2232

定例総会 每年7月 第1土曜日 博多祇園山笠にあわせて実施 福岡市内の会場で開催

■ 八代高校同窓会熊本支部

会長 中西雄一 (高20回) 事務局長 坂田雅季 (高24回)
事務局所在地 〒861-4172 熊本県南区御幸笛田4-11-5 坂田雅季方
TEL 096-379-0852

定例総会 年に10月の土曜日 熊本市内の会場で開催

■ 八代高校大分同窓会

会長 草柳英一郎 (高12回) 事務局長 松本宏次 (高15回)
事務局所在地 〒870-0848 大分市賀賀北1丁目2-40 松本宏次方 TEL 097-549-3386

■ 八代高校鹿児島県同窓会

会長 森岡和之 (高16回) 会長事務局兼任
事務局所在地 〒891-0102 鹿児島市星ヶ峯3-29-10 森岡和之方 TEL 099-265-6508

■ 八代高校長崎地区同窓会

事務局 德永哲郎 (高27回)
事務局所在地 〒852-8126 長崎市石神町39-41 德永哲郎方 TEL 095-844-6106

個人情報の取り扱いと保護について

(八代高等学校同窓会個人情報保護基本方針)

1. 八代高等学校同窓会における個人情報の定義

個人情報とは、個人を識別できる情報で、氏名、住所、電話番号、勤務先・在学校名、勤務先電話番号、最終学年等の情報を指します。
また、これらの情報のみでは識別できなくとも、複数の情報を組み合わせることにより個人を識別できる情報を含みます。

2. 個人情報をご提供いただく場合について

八代高等学校同窓会で個人情報をご提供いただくのは、以下の場合となります。
(1) 同窓会事務局から同窓会会員へ直接依頼する場合
(2) 同窓生や家族から同窓会事務局に間接的にご連絡いただく場合
(3) 同窓会会員から同窓会事務局に直接ご連絡いただく場合

3. 個人情報の管理について

八代高等学校同窓会では、個人情報を正確かつ最新の状態に保ち、不正アクセス・紛失・破壊・改ざん・漏洩または再提供(「5. 第三者への情報提供について」に記載する場合を除きます)などの無いように、適切な管理を実施いたします。

4. 個人情報の利用目的について

ご提供いただいた情報は秘密扱いとし、同窓会会員の管理、および同窓会会員名簿の発行を含む同窓会の運営に役立てる目的のみに使用します。

5. 第三者への情報提供について

八代高等学校同窓会では、ご本人の同意を得た場合以外は、同窓会会員以外の第三者に提供を行いません。
ただし、警察や裁判所等の公的機関から法律に基づく場合や、会員の行為によって同窓会会員等に反し同窓会の権利や財産等を保護するため必要と認められる場合、および人の生命・身体・財産等に対する緊急の必要性がある場合は除きます。

6. 個人情報管理責任者の配置について

個人情報を取り扱う責任者を置き、適切な管理を行います。

7. 法令等の遵守・個人情報保護方針の改定

八代高等学校同窓会では、日本国における法令等に従った個人情報の管理、利用を行います。

八代高等学校同窓会では、日本国における法令等の変更に合わせるため、個人情報の保護をより確かなものとするため、またはその他の理由により、個人情報保護方針を改定させていただきます。定期的に個人情報保護方針の改定をさせていただきますようお願いいたします。

平成24年8月25日

熊本県立八代高等学校同窓会

なお、可能な限り、適切かつ迅速な処理を努めますので、個人情報に関する開示の申し出、苦情、相談等は事務局までご連絡ください。

八代高等学校同窓会事務局 (八代高等学校内)

TEL 0965-33-4138 FAX 0965-35-8463

(直通) 080-2743-9712

連絡用メールアドレス 85jimukyoku@hachiko-dosokai.com

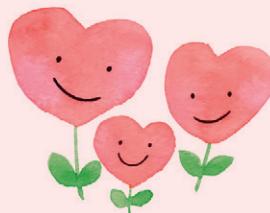
コロナ禍、豪雨災害に負けない八高生を支援するために寄付をお願いします

同窓会では八高生の夢の実現のため、これまで様々な形で支援をしてきました。

最近の新型コロナウイルス感染拡大、また、7月豪雨により、八高生にも学ぶ環境や部活動にこれまでになかったような様々な影響が生じています。そこで、同窓会として八高生の学習面や生活面でできる限りの支援を行っていこうと考えておりますが、少子化による生徒数減もあって、財政状況がかんばしくありません。

そこで、今回同窓生の皆様に一口 1,000円の寄付をお願いすることにいたしました。母校の後輩たちへの支援が充実したものになりますよう、ご協力をお願いいたします。

寄付金は**郵便局に備え付けの振込用紙**を利用して振り込んでください。通信欄に寄付金と明記し、□数もご記入ください。また、住所、氏名欄に卒業回も記入願います。



振込先

口座番号 01780-7=52031
加入者名 八代高校同窓会

2021年度 八代中学・八代高女・八代高校同窓会総会

日時：2021年8月28日(土)
会場：八代ホワイトパレス

※2021年度の大同窓会は高38回生が担当します。
多くのみなさんの参加をお待ちしております。

寄付を頂きました。ありがとうございました。
有意義に使わせていただきます。

2019年度	高20回生	¥70,000
2020年度	高30回生	¥250,000

会費納入のお願い

日頃より同窓会活動にご理解、ご協力いただき感謝申し上げます。

ご承知のように、同窓会活動として在校生に対する教育助成や会報発行、事務局運営等を行っておりますが、これらは皆さまからの会費を主な財源としております。

同窓会のさらなる発展のためにも会費の納入をよろしくお願いいたします。

なお、払込用紙を紛失された方は郵便局に備え付けの払込用紙を使って払い込みができます。その際は払入手数料はご負担願います。

振込先

口座番号 01780-7=52031
加入者名 八代高校同窓会

編集後記 広報委員の「私のこだわり」

第28回卒 広報委員長 一 親房

私のこだわりは肉の焼き方。基本Rare(しかもBlue)。熟の入れ具合で、至高の喜びが味わえる。あさり貝も難しい。ぷりぷり感にこだわる。火を止めるタイミングが試練。

第25回卒 岡村洋文

コマーシャル変態
テレビ小僧からテレビじじいへ、番組本体よりCMが大好きな変態に成長。ビジュアルもサウンドも言葉も時代を映す鏡。毎年大量に排出される中、今年のお気に入りベストは、カネボウの口紅「唇よ 熟く希望を語れ～！ HOPE」。

第28回卒 作田典子

私のこだわりは、文章の繋がりや誤字脱字のチェックです。ちょっとした間違いも見逃しません。広報委員の皆からは「鉄の女」と呼ばれています。

第30回卒 米本直美

「私って何かこだわりある?」と友人に聞いたら、目を丸くして「こだわりの塊でしょう!」と言われた。多すぎて当たり前になっていたようだ。でも旅が大好きな私は「こだわり」を捨てるのも上手だと自負している。「郷に入れば郷に従え」かな。

第36回卒 江崎博美

愛犬最優先な生活をしています。老犬なので特に孤独にさせないために実家に朝から預け仕事帰りにまた引き取るという毎日です。

第45回卒 内野裕子

私のこだわりという事で、かれこれ一ヶ月程考えてみたのですが、特に思い当たることがなく、結果『こだわりを持たないことが私のこだわり』ということになりそうです。

第46回卒 松永正大

ご飯は炊きたてに限る！

第49回卒 成尾善明

すみません。こだわりが多すぎて、どうしましよう…(>_<)

第52回卒 柴崎政俊

色々こだわりがありすぎて、未だに独りです。

第55回卒 高見聰一郎

施されたら、施し返す。恩返しです。

第57回卒 早田 蟒

休みの日は、絶対最後に起きる！ 休日くらい朝は家事をお休みしたいからです。

第69回卒 桑原温乃

私のこだわりは、スマホの壁紙の設定の時にミリ単位で調整することです。どのラインで画像を切り取るか、設定しているときの集中力には自信があります。(私のこだわりと集中力を研究に注ぎたいところです…。)